

市川正一

いちかわ せいいち

共產主義運動家。

明治二十五年二月、千白山口縣生

れ、昭和二十年二月十五日没（一九二一九没）。筆名矢津九郎、野村順

之助、阿部平智。大正五年日給田大學文學部英文科卒。可讀賣新聞、

『大正自由新聞』記者を経て國際通信社入社。大正十一年平林初之輔、

青野季十郎等と無産階級社を興し、機關紙『無産階級』創刊。翌五年第一

次は共產黨事件の連累で、保釋後希望閣を經營。また日本共產黨に入り、

この中央執行委員の任に、事實上黨の最高指導者となる。昭和四年四

一この事件の起訴、無期懲役となる宮城刑務所に獄死。

著書『獄中めくら』（昭和二十一年十一月）、二十五年群馬・桐生書房、彰

考書院發賣）、『日本共產黨闘争の歴史』（昭和二十九年四月）、千白國

民文庫社「國民文庫」一冊。